

令和6年度参加者の声

日高会場に参加してくれた



桂 ちことさん
ななみさん

稲刈りやおもちつきが印象的

どの活動も楽しかったのですが、特に稲刈りやおもちつきが印象に残りました。毎月届く家の光協会発行の「ちやぐりん」を使って、毎回活動の始めに先生に詳しく授業してもらえるので、農業と食のことをより深く学ぶことができました。また令和7年度も参加したいです。

保護者



桂 仁士さん(和田山町)

植物を育てる楽しさを学んだ

令和5年度は妹が2年生だったので、申し込みができませんでしたが、6年度は姉妹参加できるとあって、念願叶って申し込みました。あぐりキッズスクールを通じて、農業や食に関心を持ったようで、姉は積極的に料理をするようになりました。

また、家にピーマンの鉢植えを持ち帰って育てる学習では、子どもたちが毎朝ピーマンの水やりをしていました。植物を育てる楽しさを学んだほか、規則正しい生活習慣が身についたと思います。

令和7年度・JAスタッフの一人

日高支店 井川 祥希



実はあぐりキッズスクール第2期生です

わたしは、小学3年生のときに、あぐりキッズスクールに参加しました。ピーマンの収穫体験や、生きもの調査をしたことをよく覚えています。自分たちで育てた農作物に愛着が湧き、苦手だったピーマンを食べられるようになりました。

令和7年度の養父市八鹿町で開くあぐりキッズスクールは、先生として参加します。一緒に但馬地域の農業や食について学びましょう!

募集要項

1.開催目的

JAたじま管内の子どもたちに農業体験を通して「食」と「農」のつながりや地元の農業を学んでもらい、但馬の農業を好きになってもらうことを目的として開催します。

2.会場

JAたじま八鹿研修センター 養父市八鹿町朝倉

3.対象者

JAたじま管内の、**新年度から小学3年生～6年生になる児童**。2年生以下のお子様の参加はお受けできません。

4.募集定員

30人。申し込みの締め切りは**令和7年2月28日(金)**で、**申し込みが多数の場合は抽選を行います。**

5.開催期間

令和7年5月～11月の毎月1回。

6.入校費

1人につき7,000円(教材費、体験料、傷害保険料等を含む)。初回の受付にてお支払いください。特別活動の際などには、入校費とは別に実費をお支払いいただくことがあります。欠席による割引は行いません。ただし、諸般の事情によりカリキュラムの開催を断念した場合は、全課程修了後に精算し、中止分をご指定の口座に返金いたします。

※4月1日以降、自己都合により参加を取り消す場合は、キャンセル料として参加費全額を徴収させていただきます。

7.お申し込み方法

右記の二次元コードから、JA たじまの **LINE 公式アカウント**をお友だち追加してください。LINE のリッチメニューの応募フォームから必要事項を入力してください。



JAたじま公式LINE

8.その他

- あぐりキッズスクールの教材として、JA の食と農をつなぐ月刊誌『ちやぐりん』を配布します。(5～4月号まで、1年間)
- 活動はクラスごとに行います。参加者のクラス分けはJAが行います。
- お申し込みをいただいた方には、後日、郵送にて連絡を差し上げます。開催日近くになっても連絡のない場合は、地域ふれあい課までお問い合わせください。



9.お問い合わせ先

不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

JAたじま 生活福祉部地域ふれあい課
〒668-0051 豊岡市九日市上町550-1
TEL:0796-24-6488
e-mail: seikatu@ja-tajima.or.jp

JAたじま

農と食、但馬の魅力を体験

あぐりキッズスクール 参加者大募集!

令和7年度
第15期生

定員
30人

小学生の
みんな
集まれ!

楽しんでみようか!

JAたじまでは毎年、小学生を対象とした農業体験教室「あぐりキッズスクール」を開校しています。但馬地域で作られている特産品を地元農家の方に教わりながら栽培し、収穫したお米や野菜を自分たちで調理して食べることで、食と農のつながりを楽しめます。元気な子どもたちの参加を待っています。



「農」の体験

但馬全域で作られている米とピーマンのほか、その地域にちなんだ農作物を栽培します。

「食」の体験

自分たちの手で刈り取ったお米を「かまど」を使って炊きます。まきを入れ、火をおこす体験もします。

「但馬」を知る体験

スクールでの体験を通して地域の名産や特産を学び、但馬の魅力を発見します。



協賛: (一社) 家の光協会